【耳鼻咽喉・頭頸部外科】

- I. プログラム責任者 飯田 誠
- Ⅱ. 臨床研修到達目標(選択科目履修4週から16週)
- 1. 一般目標

耳鼻咽喉科臨床医として耳鼻咽喉科疾患に対する知識、検査および診療手技を身につける。

- 2. 行動目標(1ヵ月~4ヵ月)
 - 1) 耳鼻咽喉科領域の解剖・生理を理解する。
 - 2) 基本的診察法、検査法を習得する。
 - ① 病歴を聴取し、病歴作成ができる。
 - ② 視診、鼓膜所見、鼻内所見、咽喉頭所見、眼振所見がとれる。
 - ③ 鼻咽腔ファイバースコープ、喉頭ファイバースコープを実施し、その所見が取れる。
 - ④ 標準純音聴力検査、インピーダンスオージオメトリが行え、その結果が理解できる。
 - ⑤ 標準平衡機能検査が行え、その結果が理解できる。
 - ⑥ 耳鼻咽喉科領域のレントゲン写真、CT スキャン、MRI が読影できる。
 - ⑦ 嗅覚検査が行え、その結果が理解できる。
 - 3) 耳鼻咽喉科基本手技の習得
 - ① 耳処置、鼻処置、咽頭処置、創傷処置ができる。
 - ② 耳垢摘出ができる。
 - ③ 鼓膜切開ができる。
 - ④ 扁桃周囲膿瘍穿刺、切開が行える。
 - 4) 耳鼻咽喉科病棟業務、入院患者管理の習得
 - ① 急性炎症性疾患の管理
 - ② 急性音感性難聴、眩暈、顔面神経麻痺患者管理
 - ③ 術後管理
 - ④ 頭頸部悪性腫瘍患者の全身管理
 - 5) 救急患者の診察・初期治療ができる。
 - ① 急性中耳炎患者の診察・初期治療ができる。
 - ② 急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、急性咽喉頭炎、喉頭浮腫患者の診察・初期治療ができる。
 - ③ 眩暈患者の診察、初期治療ができる。
 - ④ 鼻出血(キーゼルバッハの部位)患者の診察・初期治療ができる。
 - 6) 耳鼻咽喉科手術の習得、見学

- ① 気管切開術を指導者と共に行える。
- ② 耳鼻咽喉科一般手術(内視鏡下鼻内副鼻腔手術、口蓋扁桃摘出術、アデノイド 切除術、鼓室換気チューブ留置術、顕微鏡下喉頭微細手術、鼻中隔矯正術、鼓 室形成術ほか)の見学
- ③ 頭頸部腫瘍手術(耳下腺腫瘍、顎下腺腫瘍、甲状腺腫瘍ほか)の助手を務める。

3. プログラム(4週)

- 1) 第1~2週
 - ① 耳鼻咽喉科領域の解剖・生理を理解する。
 - ② 症例の病歴を聴取し、病歴を作成する
 - ③ 耳鼻咽喉科一般診察法(中、外耳、鼻内および咽頭所見)を学ぶ。

2) 第3~4週

- ① 耳鼻咽喉科一般診察法(鼻咽腔、喉頭ファイバースコープ)を学ぶ。
- ② 耳鼻咽喉科検査法(標準純音聴力検査、標準平衡機能検査など)を学ぶ。
- ③ 耳鼻咽喉科基本処置法(耳、鼻、咽頭処置など)を学ぶ。
- ④ 耳鼻咽喉科領域の画像診断について学ぶ。
- ⑤ 手術見学

4. プログラム (8週)

1) 第5~8週

- ① 耳鼻咽喉科疾患への理解を深める。中耳疾患(急性中耳炎、慢性中耳炎、滲出性中耳炎、中耳真珠腫)、内耳疾患(眩暈症、突発性難聴、メニエール病)、鼻疾患(慢性副鼻腔炎、急性副鼻腔炎)、咽喉頭疾患(急性咽喉頭炎、急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍)などを学ぶ。
- ② 耳鼻咽喉科領域の画像診断技術を学ぶ。
- ③ 耳鼻咽喉科病棟業務、入院患者管理の習得
- ④ 夜間当直勤務を行い、救急患者の診察・初期治療を学ぶ。

5. プログラム (12週)

- 1) 第9~12週
 - ① 術後患者管理、頭頸部悪性腫瘍患者の全身管理を学ぶ。
 - ② 耳鼻咽喉科一般診察法
 - ③ 耳鼻咽喉科検査法(臭覚検査、ENG、カロリックテストなど)を学ぶ。
 - ④ 耳鼻咽喉科基本処置法(耳垢塞栓除去術、鼓膜切開術、扁桃周囲膿瘍穿刺・切開など)を学ぶ。

5. プログラム (16週)

- 1)第13~16週
 - ① 鼻出血止血法の経験
 - ② 気管切開術の経験
 - ③ 過去12週までに習得できなかった知識、技術を補う。

- (4) 指導医の指導のもとに代表的な術中循環動態、呼吸状態の変化の理解と対処法を 再履修する。
- (5) 中等度の合併症のある中侵襲の手術患者の一般的な麻酔について理解し指導医の指導のもとに再履修する。

2)第5~8週

- (1)指導医の指導のもとに特殊な手技(観血的動脈血圧測定、Swan-Ganz catheter 挿入、硬膜外カテーテル挿入など)を習得する。
- (2)指導医の指導のもとにより詳細な術前回診を行い、麻酔計画を立てる。
- (3)指導医の指導のもとに吸入麻酔、静脈麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔、各種ブロックなどを経験し、特殊な病態に応じた麻酔管理を習得する。
- (4)指導医の指導のもとに特殊な術中循環動態、呼吸状態の変化の理解と対処法を習得する。
- (5) 重度の合併症を持つ高侵襲な手術患者の一般的な麻酔について理解し、指導医の指導のもとにおこなう。